

## はじめに

2003年3月に「英文法ビフォー&アフター」の初版が発売されると、思いもかけぬ好評を博して、次々と版を重ねることとなった。これは40年にわたって毎時間学生たちになんとか早く英語を物にしてもらいたいという思いで、様々な工夫してきたことが多くの人たちに受け入れられた結果で喜ばしいことであった。

このたび、改訂新版の普及版が出た機会に、さらに練習を重ねて、読んで得た文法知識を一層確実に実力として定着させる目的で別の問題集を作ることになった。難易度は元の参考書中の問題とほとんど変わらず基本的なものが中心であるが、時々やや難しいものも入っている。分からない場合は参考書を読み直したり、辞書でよく調べることである。

参考書にある説明は理解したつもりでも、その事項が出てくる現実の文章というものは、まさに千差万別であって、隠し絵のように気がつかなかったり、別のものに見えたりするものである。だから具体的にいろいろな場面を経験して、的確に見抜けるように十分に練習をつんでおくことが極めて大事になる。頭での理解はもちろん、スライダーであれ、フォークであれ、瞬時にそのボールに対応してヒットするイチローのような動物的感覚に近い文法的感覚を研ぎすましておくことが必要になる。

水森美苗さんが指摘しているように、これからの世界は間違いなく「英語の世紀」に突入する。ゲーテンベルグの印刷機の発明にも例えられるインターネットの世界は人類に無限の〈知〉の宝庫を提供する。そしてその宝庫で通用する最も基本的な言語が“英語”なのである。高等教育を受け、グローバルに政治、経済、学問などの分野で活躍しようとするれば“英語”を正しく読み(受信)、また正しく書く(発信)ことが不可欠である。そしてそのためには正確な英文法の知識が絶対に必要である。健闘を祈りたい。

2009年8月 豊永彰

# Contents

第1章	8品詞	4	第15章	形容詞	27
第2章	文とその構成要素	5	第16章	限定詞	28
第3章	文型と文の種類	6	第17章	副詞	29
第4章	句と節	7	第18章	比較	30
第5章	動詞と動詞の活用	9	第19章	不定詞	32
第6章	時制	11	第20章	分詞	34
第7章	受動態	13	第21章	動名詞	36
第8章	助動詞	15	第22章	前置詞	38
第9章	[叙]法	17	第23章	接続詞と節	40
第10章	否定	19	第24章	呼応	42
第11章	名詞	20	第25章	時制の一致と話法	43
第12章	代名詞	21	第26章	倒置・省略・強調	45
第13章	疑問詞	23	第27章	文の転換	47
第14章	関係詞	25			

## 第1章 8品詞

**A** 次の文中の下線を引いた語句の品詞を答えなさい。

1. The book on the desk is mine.  
(机の上の本は僕のだ)
2. Which do you like better, tea or coffee?  
(お茶とコーヒーのどちらが好きですか)
3. To be or not to be, that is the question.  
([世に]あるべきか、あらざるべきか、それが問題だ)
4. They all went but I didn't.  
(彼らはみな行ったが私は行かなかった)
5. They are all gone but me.  
(私のほかはみな行ってしまった)
6. Laughing is a key to good health.  
(笑いは健康の秘訣です)
7. He put the jewelry in a small safe.  
(彼はその宝石類を小さな金庫に入れた)
8. I do not see much of him.  
(彼にはあまり会わない)
9. Which bridge did you cross the river by?  
(どの橋を渡って川を越えましたか)
10. Which airline are you flying on?  
(どの航空会社の飛行機に乗るのですか)
11. Go through the door on your left.  
(ドアを通り抜けるときは左側を通ってください)
12. Some people dumped refuse into the river.  
(人々の中にはゴミを川に投棄するものもいた)
13. He put on superior airs before his subordinates.  
(彼は部下の前で偉そうにした)
14. He was candid in admitting his faults.  
(彼は率直に自分の過ちを認めた)
15. In case anyone was following me, I made an elaborate detour.  
(誰かが私をつけているといけないので、私は手の込んだ回り道をした)

## 第2章 文とその構成要素

**A** 次の文の主語・(述語)動詞・目的語・補語を指摘しなさい(ただし、前置詞の目的語の場合や、従属節中の構成要素は除く)

1. In the middle of the cottage was a large table.  
(小屋の真ん中に大きなテーブルがありました)
2. Soon he was invited to dine at the mayor's house.  
(間もなく彼は市長の自宅に食事に招待されました)
3. No one has succeeded in explaining these phenomena.  
(これまで誰もこれらの現象を説明するのに成功してこなかった)
4. So far as I am concerned, your plan leaves nothing to be desired.  
(私に関する限り、君の計画は私の望みどおりだ)
5. It is a seven hours' walk from Tokyo to Kwasaki.  
(東京から川崎までは歩いて7時間かかります)

**B** 次の下線部の句または節が文中何品詞相当の働きをしているかを指摘するとともに、また文中での働き(主語・目的語・補語・修飾語)を答えなさい。

1. As she went, the rain became lighter.  
(彼女が歩いていくにつれ、雨の勢いが弱くなった)
2. Once upon a time, there was a king who had an orchard.  
(昔、昔、あるところに果樹園をもっている王様がいました)
3. Her father advised her to be more careful in her choice of words.  
(彼女の父は彼女に言葉の使い方をもっと注意するようにと忠告した)
4. He was on the point of going out when the phone rang.  
(電話が鳴ったとき彼はちょうど出かけるところだった)
5. Democracy is, among other things, the ability to say "No" to the boss.  
(民主主義とは何よりもまず上司に「ノー」と言えることである)